

第22号

JForest

みどり
森 林

須崎地区森林組合広報

平成22年6月1日発行

編集責任者 業務課長

印刷 (株)カミヤエーゼン

発行所:須崎地区森林組合 〒785-0024 高知県須崎市安和925 TEL 43-0030



役員名簿			
選 挙 区	役 職	氏 名	
須 崎 市 地 区	代表理事組合長	北 澤 利 文	
須 崎 市 地 区	理 事	鍋 島 彰	
須 崎 市 地 区	理 事	大 崎 稔	
須 崎 市 地 区	理 事	久 保 文 彦	
須 崎 市 地 区	理 事	津 野 正 男	
中 土 佐 町 地 区	理 事	池 田 修	
中 土 佐 町 地 区	理 事	原 悦 男	
中土佐町旧大野見村地区	理 事	細 木 啓 延	
中土佐町旧大野見村地区	理 事	南 部 昭 雄	
津野町旧葉山村地区	理 事	西 森 盛 幸	
津野町旧葉山村地区	理 事	高 橋 信 行	
土 佐 市 地 区	理 事	森 岡 雄 二 郎	
津野町旧葉山村地区	代 表 監 事	下 元 弘 暢	
須 崎 市 地 区	監 事	山 崎 元 靖	
中土佐町旧大野見村地区	監 事	青 木 孝 夫	

※平成21年12月理事会に於いて定款内役員削減を決定し選考されました。合わせて、役員定年制を(選挙時満75歳未満)に決定しております。

第34回総代会が去る3月24日須崎市立市民文化会館で開催され、議長に津野町の今橋正利氏を選任、議案全てを原案通り可決承認されました。厳しい現状ではありましたが、中土佐町立久礼中学校建築材料購入事業の導入等、また、関係各位のご協力により計画を上回ることが出来ました。引き続き新規事業に積極的に取り組み経費管理の節減に努め堅実な運営に努力致します。



平成22年度 総代会

損益計算書 (自平成21年1月1日～至平成21年12月31日)

科目		小計	合計	指導	販売	加工	森林整備	森林経営事業
総損益事業	事業総収益	327,839		3,197	71,736	38,975	213,931	0
	事業総費用	274,687		3,459	55,628	36,684	178,916	0
	事業総利益		53,152	△262	16,108	2,291	35,015	0
損益事業	事業管理費	47,149		4,251	7,813	904	34,181	0
	事業利益		6,003	△4,513	8,295	1,387	834	0
経常損益	事業外収益	1,729						
	事業外費用	2,370						
	事業外損益	△641						
特別損益	経常利益		5,362					
	特別利益	497						
	特別損失	0						
当期剰余金	特別損益		497					
	特別損失		0					
	特別損益		497					
当期剰余金		5,859						
前期繰越剰余金			△3,844					
当期末処分剰余金			2,015					

剰余金処分案(平成21年度)

摘要	内訳	小計	合計
当期末処分剰余金			2,015
剰余金処分額			
1.法廷準備金		500	500
次期繰越剰余金			1,515

総合貸借対照表(平成21年度)

資 産 の 部		負 債 の 部		
流動資産	現金・預金	49,760	受託販売預り金	27,653
	売掛金・未収金	119,850	買掛金	555
	棚卸資産	55,664	未払金	73,862
	その他	53,203	短期借入金	240,000
			当座借越	22,508
		その他	10,496	
	小計	278,477	小計	375,056
固定資産	有形固定資産	268,094	長期借入金	51,420
	外部出資金	37,271	農林漁業資金借入金	24,287
	農林漁業資金貸付金	24,117	退職給付引当金	6,074
	その他	5,953		
	小計	335,435	小計	81,781
純資産の部		純資産の部		
		出資金	120,947	
		利益剰余金	34,128	
		資本準備金	2,000	
		小計	157,075	
合計	613,912	合計	613,912	

組合長就任挨拶



北澤利文

3月の理事会にて、代表理事に選任され、組合長に就任致しました北澤利文です。歴代組合長はそれぞれの個性を生かし、当組合の発展に寄与されましたことに、深く敬意を表しますと共に、志を引き継ぎ、私なりに組合員の方々がより親しみやすく、より利用しやすい組合となるよう、全力投球する覚悟ですのでよろしくお願いたします。

さて、平成21年度は民主党を中心とする新政権が誕生し、事業の洗い出し作業等行われ新施策が打ち出されてきています。森林分野に於いても凍結、見直しの事業も出ておりますが、森林は建築用材の供給だけでなく多面的機能の価値が叫ばれています。とりわけ地球温暖化は世界共通の問題であり、主要大臣クラスから二酸化炭素の25%削減、6年間で330万haの間伐の実施、木材の自給率を25%から50%に引き上げる

等方針が挙がっています。今まさに森林林業に追い風が吹いている感があります。具体的には地域でまとまり、間伐、作業道を計画提案して提案型施業集約化)助成の対象にもっていくこととなります。当地域でもこの方針に沿って森林整備を加速させていきたいと考えています。理解の得られる地域ではドイツの黒い森に代表される150年〜200年の長伐期の森も可能でないかと夢見しています。

当組合の平成21年度の業務実績につきましては、関係機関からの事業発注が多くあり、中でも久礼中学校の資材調達事業にも着手でき、事業計画を達成することが出来ました。この間お世話になった方々に心からお礼申し上げます。又、平成22年度は役員改選されましたので、この機会に経営改善事業を導入し役員、作業技術員全員を対象に意識改革を進め、透明で、且つ公平で、組合員の皆様に信頼される森林組合になるよう取り組む所存であります。また必要な情報を広報等により組合員の方々に発信していきますので、組合員の方々も事業をご理解の上、応援協力よろしくお願いたします。

新人紹介



業務課 武村侑幸

新しく入社した武村侑幸です。中学、高校と陸上をしていて、棒高跳びをやっていました。自慢できることは県大会で優勝したことです。趣味は音楽鑑賞で暇な時などによく聴いています。ベースに少し興味があり、友達と一緒に弾いたりします。精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします



副組合長 細木啓延

このたび理事会で、副組合長に選任いただきました細木啓延です。どうかよろしくお願いたします。木材価格の下落、木材住宅着工数の減少等により森林に対する関心は低迷しております。CO2削減の気運の高まりにより、大切な森林を地域で誰が守り育てていくか、そしてその担い手が現場で苦悩している現実はまだ一般の方々には理解されておりません。森林組合を取り巻く厳しい経営環境と使命をご理解いただき、元職員としての経験を生かし、森林組合本来の使命である森林保全、整備に重点を置き透明で風通し良い組合を目指し、非常勤ではございますが、組合長を補佐していきたいと思っております。組合員皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

平成二〇年五月と平成二一年十月に京都府の日吉町森林組合にて提案型施業集約化の必要性について学習しました。

提案型施業とは、森林の将来像を見据えた上で長期的な視点に立った施業を提案する。施業方法は百年生程度まで間伐を繰り返すという長伐期多間伐施業です。メリットは、間伐を繰り返すに事によって単木材積の増加・生産性・採材歩留まりが改善し、採算性が向上していくことです。

そこで現在人工林資源が成熟しつつある中、保育から木材を利用する施業へと移行する事で複数の森林所有者の隣接する林地をとりまとめて路網を整備しつつ、林業機械と技術を活かして一体的に施業を行うことを(集約化施業)といます。

そのためには、森林所有者に分りやすく提案を行う事も必須ですので、合わせて提案型集約化施業といえます。

森林所有者の所有山林が約7割をカバーしている森林組合は、森林所有者の協同組合組織であり、森林を管理・経営する事が使命です。この事で集約化に取り組み、施業コスト削減によって所有者に木材販売収益を還元することで、地域の森林整備・管理を実現することが期待されている。との事でした。

当組合は、今後百年生まで計画的に間伐を繰り返して長伐期施業に移行する取り組みを推進していく予定です。その中で現在高知県で推進している森の工場づくりの中で、小規模所有者を集約し、道をつけながら、機械を効率的に使用し森林所有者に施業の提案を働きかける一方、経営力・技術力・サービス面に実践と改善を繰り返し経験を蓄積し、安心して組合に森林経営をまかせていただけるように努力していきたいと考えております。

提案型施業集約化について

森林所有者の所有山林が約7割をカバーしている森林組合は、森林所有者の協同組合組織であり、森林を管理・経営する事が使命です。この事で集約化に取り組み、施業コスト削減によって所有者に木材販売収益を還元することで、地域の森林整備・管理を実現することが期待されている。との事でした。

当組合は、今後百年生まで計画的に間伐を繰り返して長伐期施業に移行する取り組みを推進していく予定です。その中で現在高知県で推進している森の工場づくりの中で、小規模所有者を集約し、道をつけながら、機械を効率的に使用し森林所有者に施業の提案を働きかける一方、経営力・技術力・サービス面に実践と改善を繰り返し経験を蓄積し、安心して組合に森林経営をまかせていただけるように努力していきたいと考えております。

森の工場づくり

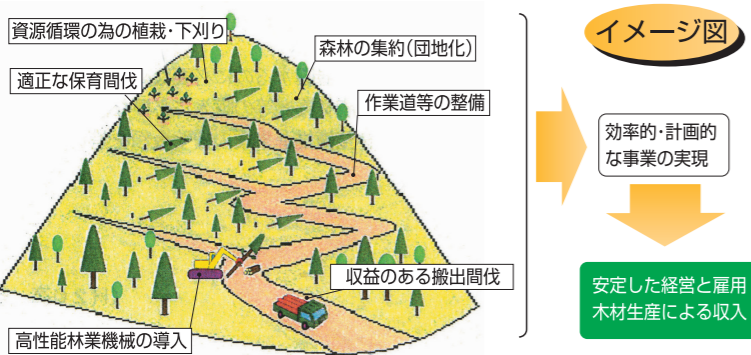
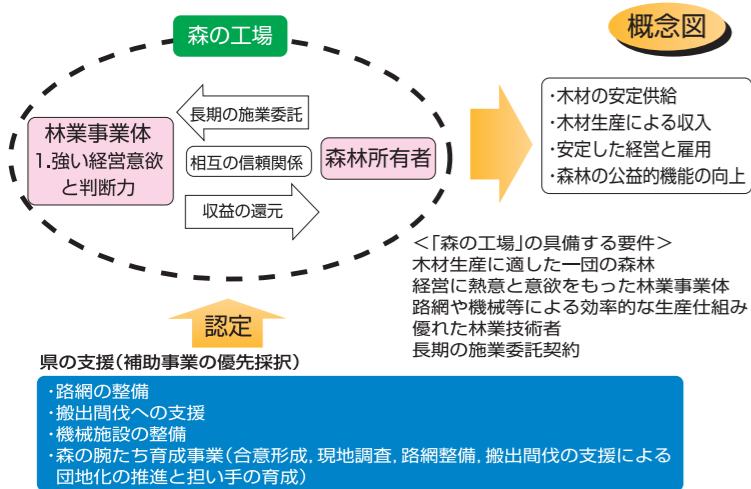
～高知県における施業・経営の集約化促進の取り組み～

1 趣旨

木材価格の低迷、経営コストの増加など林業採算性の著しい悪化、小規模分散的な森林の保有構造、林業担い手の減少・高齢化など、林業を取り巻く諸条件が厳しい中で、林業生産活動の活性化を図っていくためには、意欲ある林業者に施業・経営の集約化を進めていくことが課題となっております。

このため、高知県においては、平成16年より、意欲ある林業事業者が一団の森林を対象に森林所有者から長期の施業の受委託等によって効率的かつ計画的に森林経営を展開することに対して、

2 「森の工場」の概要



長伐期施業の経営上の利点

長伐期施業の林業経営上の利点は下記の通りです。

- ①長伐期施業は、施業体系全体の中に占める植栽と下刈・伐捨間伐などの保育作業量の比率を下げ、その分低コスト化を図れます。
- ②長伐期施業は大径材生産に結びつき、大径材は伐採と集材工程の生産性を高めます。
- ③長伐期による大径材は、無節性や年輪構成の上から材質において優れています。
- ④大径材は採材歩留まりが高くなることから、短伐期皆伐施業よりも総収穫量(丸太材積)が多くなります。例えば、50年伐期を2回繰り返した場合と100年伐期とを比較した図9-4のシュミレーションによれば、50年伐期2回の総収穫量は591m³なのに対し、100年伐期では778m³と3割以上収穫量が多くなるとの結果になっています。

短伐期と長伐期との比較(立木・単木・丸太材積・歩留まり)

	50年間伐×2回				100年伐期			
	50年皆伐	40年皆伐	50年皆伐	計	55年皆伐	70年皆伐	85年皆伐	100年皆伐
立木材積(m ³ /ha)	460	108	460	1028	112	105	119	626
単木材積(m ³ /本)	0.54	0.24	0.54	0.47	0.44	0.70	1.06	1.86
丸太材積(m ³ /ha)	279	33	279	591	55	63	89	571
歩留まり	61%	31%	61%	57%	49%	60%	75%	81%

資料)大貫・田口「消極的長伐期から積極的長伐期へ」現代林業2007年8月号

公益的機能も高い長伐期施業

人工林においては、生物多様性や水土保全において天然林に及ばないところがあります。しかし、人工林でも適切な管理をすれば、それらの機能との距離を小さくし、生産と環境保全の機能を調和させていくことができます。それは長伐期多間伐施業であり、また、長伐期多間伐施業の延長上に非皆伐の択伐(複層)林施業や混交林施業なども展開可能です。

これらの施業は、皆伐による裸地化を回避することができるため、下層植生を維持でき、土壌保全効果や水土保全、また生物多様性の保全効果も高められます。土壌保全効果が高いということは、木材生産にとって基本的な重要な土壌生産力が維持されるということです。

各種補助体型について

現在、山林の施業に対して多くの補助制度があります。市町村及び施業方法によって制度や補助金額が異なりますので詳しくは森林組合までお問い合わせ下さい。

ここでは補助対象となる代表的な事業を紹介します。

●新植

スギ、ヒノキ伐採後の植林に対して補助金が適応されます。

●下刈り

植林を行った年から10年間は補助対象となります。

●間伐

尚、1年目及び7〜10年目については、あきらかに下刈りの必要のない状態の山林については採択できません。状況判断は森林組合職員が致しますので一度ご相談下さい。

●作業道整備

植林後11年以降の山林が補助対象となりますが、地域によって対象となる林齢や施業内容が異なります。お手持ちの山林がどの地域に該当するかは森林組合までお問い合わせ下さい。

●個人施業について

森林所有者自らが施業を行う場合についても内容により補助の対象となります。

詳しい補助事業の内容については森林組合までお問い合わせ下さい。作業を行う場合は、山林の区域や森林機能によって事前に書類提出しなければなりませんので施業を行う前には必ず森林組合へご連絡下さい。

特に作業道開設を行う場合は計画等が必要になってきますので必ずご連絡下さい。

須崎地区森林組合業務体制

組 合 長 北澤 利文
副 組 合 長 細木 啓延

業 務 課

業 務 課 長 峯本 泉(間伐推進員、旧大野見村担当)
林 産 係 長 竹村 洋宣(間伐推進員、旧葉山村担当)
森林整備第一係長 橋田 直尚(間伐推進員、須崎市、土佐市担当)
森林整備第二係長 谷 正人(間伐推進員、旧中土佐町担当 衛生管理)
業 務 係 古谷 由利子(業務事務)
武村 侑幸
西岡 靖郎(現場職員)

総 務 課

総 務 係 長 松本 光

林 産 技 術 班 (5班 20名)安全担当者6名
森 林 整 備 班 (4班 10名)安全担当者5名
加 工 班 (1班 2名)
販 売 班 (1班 2名)

全山間伐構想

材価の安い時ほど、森林整備に努め、材価の蓄積を高め、山林に付加価値を付けることが、第1の政策で今がその時と考えています。

間伐の遅れの原因は所有者側の山林に対する関心の低さと、森林組合側の、間伐促進の取り組み不足から生じているものです。全体的には50%が小面積で、この部分を推進する必要があります。森林組合は一昨年度より森林調査、境界の明確化事業を導入して間伐促進に取り組んでいます。



中土佐町大野見萩中にモア・トゥリーズの森があります。モア・トゥリーズとは音楽家の坂本龍一さんが代表を務める一般社団法人で平成19年8月にモア・トゥリーズ・高知県知事 中土佐町長 須崎地区森林組合で協定を結び協賛金を森林の手入れに使いながら約70haの森林を3年かけて間伐している最中です。平成22年度末にはすべて完了予定です。

more trees

モア・トゥリーズの森

第814回市 高知県森連 高幡共販所

平成22年5月1日現在

材長	樹種	杉		桧		杉	桧
	径級	直	小曲	直	小曲	曲	曲
4m	6~8cm	10,000		12,000		10,000	8,500
	9~12cm	7,500		10,500	9,500	6,000	7,200
	13cm			16,000	14,000		
	14~16cm	10,000	9,000	21,500	20,000	6,000	15,000
	18~22cm	13,500	12,000	21,000	20,500	9,000	18,500
	24~28cm	13,500	12,000	23,500	22,500	9,000	18,500
3m	6~8cm			8,000			
	9~12cm	7,500		9,500	8,500	6,000	6,500
	13cm			13,000	12,000		
	14~16cm	10,500	9,000	20,800	19,000	6,000	14,200
	18~22cm	11,200	9,500	21,000	20,000	8,500	18,000
	24~28cm	10,000		18,500	17,500	9,000	17,000

単位:円

平成22年度つち期間表

1月20日 ~ 2月3日
3月21日 ~ 4月4日
5月20日 ~ 6月3日
7月19日 ~ 8月2日
9月17日 ~ 10月1日
11月16日 ~ 11月30日

※つちの期間は土を犯してはならないとされていて、穴掘、井戸掘り、種まきなど土いじりは、一切慎むべきとされています。つちの期間の伐倒は控えて下さい。

忘れていた言葉
先日、某食堂で50才代と思われる男性がラーメンを前にして「頂きます」と合掌した。小さな声ではあったが、何か不思議な懐かしい言葉に聞こえた。祖母から、食べ物を作った人に、運んだ人に、料理した人に、関わった全ての人に感謝して「頂きます」と言ってから食べるものですよ、と言われたことが蘇った。保育園では言っているが、家庭で習慣付けていますか、大人になってもこの気持ちをもち続け実行したいものです。

編集後記

去年度は広報(森林)を発行しないまま経過し申し訳ありませんでした。当組合も役員交代や、新規職員を迎え平成22年度がスタートしました。造林、林産事業はもとより組合に関するご意見など気軽にお寄せください。

須崎市安和925番地

FT AX L 0088914310003310



一部の地域から、理事さん、総代さん達にご足労願って、各地区の組合員の現状再確認を行っています。亡くなられている組合員は、相続人のご了解を頂いて、

出資証券の継続手続きをお願いしております。相続者又は、お知り合いの組合員で、亡くなられていて、そのままになっているケースなどございましたら森林組合までご連絡下さい。

〒785-0024

高知県須崎市安和925番地

須崎地区森林組合 総務係

TEL 088914310030

FAX 088914310031